

Limited Express (has gone?) X
DODDODO / Limited Express (has
gone?) X DODDODO

FICL-1026(ch-111) Less Than TV 1680円

リミテッドとDODDODO(ドッドド)という、意外性もあるけど妙にしっくり、な2組によるスプリット・アルバム。各3曲ずつ収録。リミテッドはニュードラマー、TDKの加入後、初の音源となる。対するDODDODOは、ブレイクコア以降なんてのも尻目に、自由度の高い音楽を鳴らしている。ともに、とことん「オリジナル」なのだ。



取材・文/中谷琢弥 撮影/斉藤 弦

Limited Express (has gone?)

リミテッド エクスプレス(ハズ ゴーン?)

'03年、ジョン・ゾーン主宰(TZADIK) (US) から1stアルバムをリリース、15ヵ国以上をツアーで飛び回る。その後、2ndアルバム、ベストアルバムを発表、名実ともに日本オルタナティブシーンを率先するバンドになるも、'06年突然の解散宣言。半年後、突然の復活宣言。JJ(g&vo)、YUKARI (b&vo)、新加入のTDK (ds) のスリーピース・バンド。通称リミテッド。

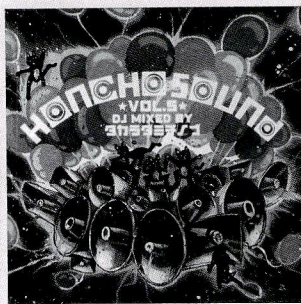
<http://www.limited-ex.com/>

■ Limited Ex X DODDODO SPRIT TOUR
7.13 (Sun) @METRO

PPS

POWER PLAY SOUND

Music is moistened our life. Tasteful album is here.
W'd like to find your recommended one.



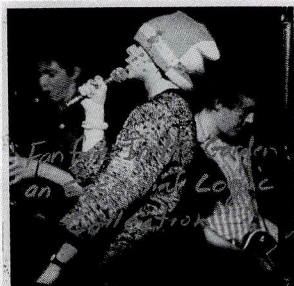
HONCHO SOUND vol.5

/タカラダミチノブ

HONCHO SOUND 1575円

今やオルタナティブなパーティには欠かせない横浜出身のDJ、タカラダミチノブがレゲエ、歌謡曲、エキゾチックジャングル、ダブ、ロックンロール etc をオールイン・ザ・ミックス。「ミックス CD ばかり聴いてたときの核弾頭」(JJ)

recommend 01



FANFARE IN THE GARDEN /
ESSENTIAL LOGIC

KILL ROCK STARS '2300円

ポスト・パンクのゴッドマザー、ローラ・ロジック率いるバンドの、'78年~'81年当時の音源と'02年の新録を収めた2枚組。「テロテロでジョキジョキなところと、ロックスターに憧れないレベルからリリースしているから好き」(JJ)

recommend 02

les than tv
Sélection 8 or 2008



since 1992
produit de japon

U.G. LAND / U.G. MAN

Less Than TV 2625円

東京地下の最強ストレンジ・ハードコア! メンバーのタウニグチジュンは今回のリリース元である(Less Than TV)の主宰者でもある。『パンクロックは、まねをするからこそかっこいいんだ!』という言葉は、まさに「GOD WORD!」(JJ)

recommend 03

第二期リミテッドの行く先は? 「NEW MUSIC IS NEW LIFE です (笑)」

'06年に突然の解散宣言、時を同じくメンバーは東京移住、その半年後に電撃的に復活…。京都を拠点とし、日本オルタナ界の急先鋒として '00年代のシーンを掻き乱し、牽引してきたバンド、Limited Express (has gone?) が、激動の時期を経て第二期をスタートさせようとしている。

「(東京に移ったのは) もちろんリミテッドの解散も一つの要因ですけど、外的刺激が年々減ってきたってことかなあ。なんかね、それが減ると、どうも愚痴が多くなるのが人間の癖らしいっす。それいれねえ〜って思った。あと、ずっと世界レベルでロック・ミュージックをやりたいて言ってきたせに、東京に対するコンプレックスがあったのも事実。それもいれねえ〜って思った」(JJ / 以下同)

今回の新作は、欧米から熱視線を浴びる大阪ブレイクコア・ムーブメントの中心のひとり、DODDODO とのスプリット、しかもリリースは日本が誇るパンク・レーベル、Less Than TV からときたもんだから、その組み合わせからしてオモロい。

楽曲のほうも、パンクバンドJOYのドラマーTDKの加入によって、よりシンプルになっているのが分かる。真骨頂である突き抜けっぷりが、アヴァン (=精神的) からバ

ンク (=肉体的) へと変化しているというか、爽快ですらあるテンションなのだ。

「そうですね…。パンクな要素は、TDKに付随する所が大きいかな。自分たちにとっての新しい音楽を創造するのは、初期からのテーマ。で、僕は激ヘビーリスナーでもあるので、誰もやってないロック・ミュージックをやるってことになるんす。それには、頭で構築しないってことはめっちゃ大事で。頭で考えるより、直感とか感覚とかに忠実になりたくってますからね、日増しに。カチコチの筋肉は、楽曲にはいらなないなあ。贅肉の方が愛嬌あっていいっしょ」

JJはまた、京都の秋の風物詩とも言える日本最高峰のインディペンデント・フェス、ポロフェスタの主催者のひとりでもある。同フェスは騒音問題もあって京大西部講堂での開催は難しい、となっているのだが…。

「うっす! やります。メトロとナノと、行政口説いて鴨川で。で、来年は山に行きたいっす。(京都を離れたことで) 京都がめっちゃ好きだったことに気づいたんで。京都にしかないものがいっぱいあって、そこからしか生まれないものもあって、そのすべてにリスペクトです」